

看護実践研究学会 投稿の手引き

1. 原稿のレイアウトは、A4、横書き、1頁 40 字×40 行、MS 明朝 10.5 ポイント、上下左右余白 30mm とする。指定の原稿フォーマットをダウンロードして作成する。
2. 句読点は「、」「。」を用いる。
3. 数字、英文・英文字、記号は原則として半角入力とする。
4. 単位は、半角で m, cm, ml, kg 等と表示する。一般的でない略語は、論文の初出のところで正式用語とともに提示してから用いる。
5. 日本語表記の本文中に出てくる括弧は、すべて全角で入力し、括弧で閉じる（ ） 前の句点は記載しない。
6. 見出し番号は、I. →1. →1) とし、これ以下は(1)もしくは①とする。なお、見出し番号につけるピリオドや括弧は全角で記載する。
7. 本文中の著者を特定することのできる事項は伏せて記載する。
8. 文献の記載はアメリカ心理学会のスタイル (APA スタイル) を用いる。

【本文への引用】

- 1) 文献は、本文中に著者名、発行年次を括弧表示するが、著者が複数の場合は筆頭者だけを挙げ、例示 1、2 のように表示する。
例 1) 佐藤ら (2019) は、…を〇〇と△△に分類している。
例 2) …は〇〇と△△に分類される (佐藤ら, 2019)。
- 2) 複数の異なる著者の文献を同一箇所 で引用する場合は、セミコロン「;」で区切って、筆頭著者のアルファベット順に並べる。
例) 〇〇と△△に焦点を当てた研究 (小林, 2019 ; 高橋, 2018) では、…。
- 3) 英文表記の氏名の場合は、「ファミリーネーム (姓), ファーストネーム (名) のイニシャル. (あればミドルネームのイニシャル).」となる。
例 1) Suzuki, T. ←Suzuki Taroh (鈴木太郎) の場合
例 2) Stuart, G. ←Gail Stuart (ゲイル・スチュアート) の場合
- 4) 単行本からの本文引用が複数箇所 にわたる場合は、文献リストには頁を記載せず、本文中の引用箇所に、下記例示のように該当ページを記載する。
例) 佐藤(2019, pp.1-2) もしくは (佐藤, 2019, pp.1-2)

【文献リスト】

- 5) 文献リストは、著者姓のアルファベット順に並べ、同一の (共) 著者による複数の文献は、単著を共著の前におき、出版年の昇順に並べる。著者名は 3 名までを表記し、4 人目以降は省略して「ほか」「, et al」と記載する。

(1) 雑誌掲載論文

著者名. (発行年次). 論文題名. 雑誌名, 巻(号), 頁-頁.

例)

黒江ゆり子, 北山三津子. (2014). 看護実践研究の可能性と意義 その 1. 岐阜県立看護大学紀要, 14(1), 157-163.

Suzuki, A., Tanaka, E., Yamada, K., et al. (2009). A new mental health care model. *Mental Health*, 14, 46-55.

(2) 単行本

同一書籍からの本文引用が 1 箇所の場合は、下記①②の書式を使用する。単数ページの場合は「p. ○」、複数ページの場合は「pp.○-○」で表記する。

①著者名.(発行年次). 書名(版数)(p.頁あるいは pp.頁-頁). 発行元.

例) 引用箇所が単数ページの場合

鈴木太郎,佐藤花子.(2019). 看護実践研究入門(第 2 版)(p.10). 看護実践研究出版.

例) 引用箇所が複数ページの場合

鈴木太郎,佐藤花子.(2019). 看護実践研究入門(第 2 版)(p.10-15). 看護実践研究出版.

②著者名.(発行年次). 表題名. 編者名(編), 書名(版数)(p.頁あるいは pp.頁-頁).発行元.

例) 引用箇所が単数ページの場合

鈴木太郎.(2019). 看護実践研究のすすめ. 小林次郎, 佐藤花子(編), 看護実践研究入門(第 2 版)(p.100). 看護実践研究出版.

例) 引用箇所が複数ページの場合

鈴木太郎.(2019). 看護実践研究のすすめ. 小林次郎, 佐藤花子(編), 看護実践研究入門(第 2 版)(pp.100-110). 看護実践研究出版.

(3) 翻訳書

原著者名.(原書の発行年次)/(翻訳書の発行年次). 翻訳者名(訳), 翻訳書名(版数)(pp.頁-頁). 発行元.

例)

アメリカ心理学会.(2010/2011). 前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦(訳), APA 論文作成マニュアル(第 2 版)(pp.192-193). 医学書院.

(4) 電子文献

著者名またはサイト設置者名.(発行年次). タイトル. 入手日(アクセス日). アドレス

例)

厚生労働省.(2020). 看護基礎教育検討会報告書. 2021-2-26.

<https://www.mhlw.go.jp/content/10805000/000557411.pdf>

6) 同一著者、同一出版年の複数の文献はタイトルのアルファベット順に並べ、出版年の直後にアルファベット小文字で a から順番に添え字を付す。

例) 鈴木太郎.(2018). . . .

鈴木太郎.(2019a). 看護実践の

鈴木太郎.(2019b). 看護実践上の課題における

鈴木太郎, 佐藤花子.(2019). . . .

鈴木太郎, 小林次郎, 佐藤花子ほか.(2019). . . .

7) 文献リストの表示にあたっては、カンマ「,」やピリオド「.」は半角で、後ろに半角スペース(空白)を 1 文字分とり、括弧()は半角で表記する。

9. 図表には通し番号と表題をつけ、一つずつ別の用紙に記載または貼付し、本文とは別に一括する。本文中に、それぞれ挿入希望位置を朱書する。なお、図表は鮮明でなければならず、その大きさは A4 縦の規程のレイアウト幅内におさめなければならない。印刷・製版に不適當な図表は、書換え・割愛を求める。

10. 他の著作物から、図表、写真、あるいは文章を転載する場合、必ず著者及び発行者の許可を求め

なければならない。自著の場合も自著の発行者の許可が必要である。手続きは著者自身が責任を負うものとする。

11. 補足説明のための註をつける場合は、本文中に括弧書きで註の通し番号を記し、後註として本文（考察、結論等）の末尾、謝辞・文献の前に説明を記す。
12. 利益相反について、利益相反状態がない場合は、「本研究における利益相反は存在しない」と論文末尾に記載する。利益相反状態がある場合は、編集委員会に申し出る。

(2021年3月20日作成)